イベントレポート

秋の留学フェア 2026

2026年10月22日

文責：駒峯さくら、平内真心

0. 目次

1. 背景・現状分析
2. 目的
3. 目標
4. パネルディスカッション
5. 相談ブース
6. 反省
7. まとめ

1. 背景・現状分析

10月中旬に実施された2026年度秋募集学内選考への応募者に向け、出願校に迷っている学生や、留学に挑戦するか決めかねている学生が多数いると考えられた。10月は、学生が留学に対して高い関心を持ちやすい時期であるため、情報提供に最適な時期だと考えられる。今回の秋の留学フェアでは、学生たちにとって一番身近な存在である我々学生留学アドバイザーが、海外留学に興味を持つ学生たちに適切な情報提供をし、在学中の留学を後押ししていきたい。

加えて、留学フェアの周知などを通して、まだ留学に強い関心のない学生が、留学に興味を持つきっかけとしたい。

2. 目的

留学を希望する学生が、出願国/校選びの参考となるような情報を得ること。また留学に行くか迷っている学生に対しては、留学を経験した先輩の話を聞くことで留学を身近に捉え、能動的に活動するきっかけを作ること。

また、留学に強い関心を持っていなかった学生に対しては、留学の魅力を伝える機会とすること。

3. 目標

Ⅰ. ターゲット

留学を希望する学生、留学に興味があるがまだ具体的な行動を取れていない学生。（主に1年生）

Ⅱ. 来場者数目標

・パネルディスカッション：**各日100人**

（参考→2026年春の留学フェア：合計215名）

・相談ブース：**各日150人**

（参考→2026年春の留学フェア：合計382人名）

Ⅲ. アンケート

・回収方法：Google Formを作成しQRコード化する

パネルディスカッションでは各回終了後

相談ブースではメンターと相談をした後にQRコードを使い回答をしてもらう

・回収率：留学経験談、相談ブース共に90%以上

・総合満足度：10段階評価のうち「7」以上が8割、「1」、「2」の評価なし

4. パネルディスカッション

Ⅰ.パネルディスカッション

タイトル：　出願直前！～中長期留学の解像度を上げよう～

〈場所〉国際会議場井深大ホール

〈日時〉2026年10月7日（水）12:30～13:00

8日（木）12:30～13:00

〈形式〉司会者（各日1人）がパネラーの留学経験者（各日約4人）にテーマを提示し、

留学経験を話してもらう。

〈テーマ〉

・登壇者紹介

・留学先を選ぶポイント（志望理由書には何を書いたかも含めて）

・留学にかかる費用

・留学中の一日（授業がある日の一日）・一年間のスケジュール

・その中でも忘れない思い出（楽しかったこと・学んだこと）

Ⅱ. 来場者数

10/7：83名

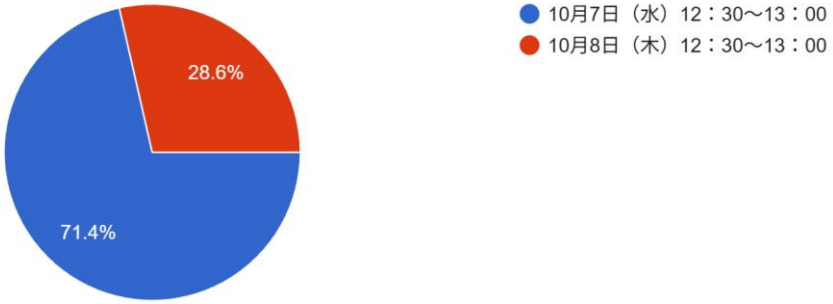
10/8：51名

→目標（各日100名）達成ならず！

Ⅲ.アンケート結果

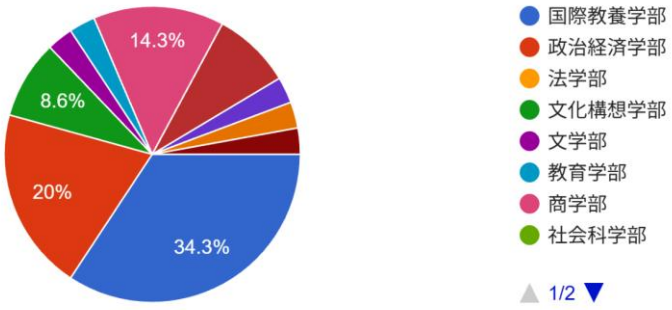
本日はどのセッションに参加しましたか？

35 件の回答



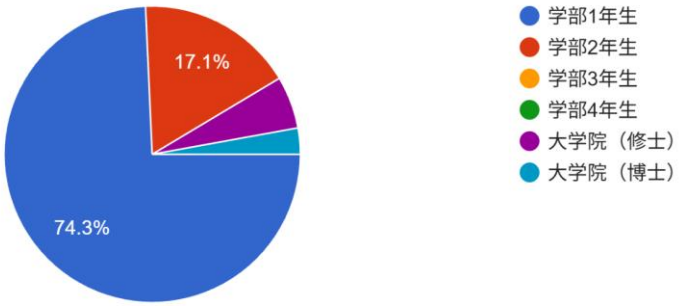
学部

35 件の回答

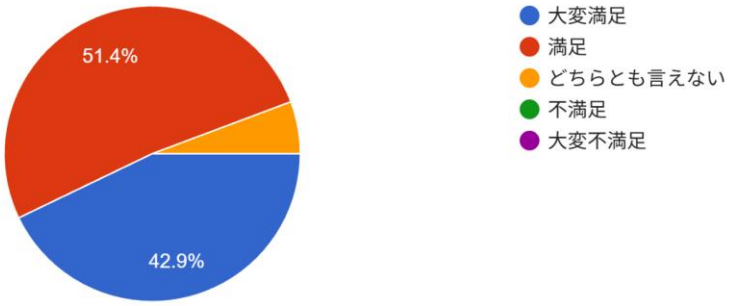


学年

35 件の回答

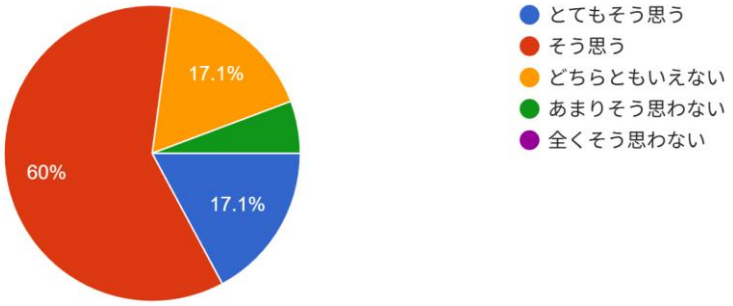


本イベントの満足度を教えてください
35 件の回答



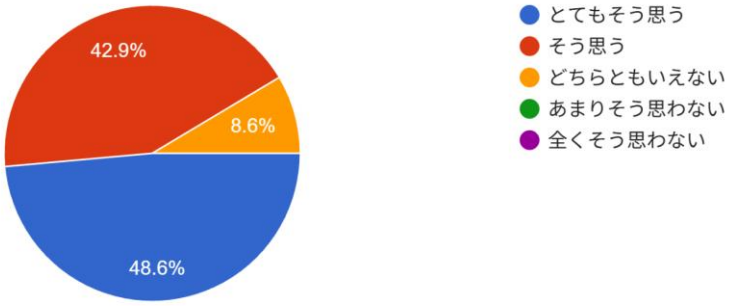
→94.3%が「大変満足」「満足」に回答

本イベントの参加で留学に対する不安を減らせましたか？
35 件の回答

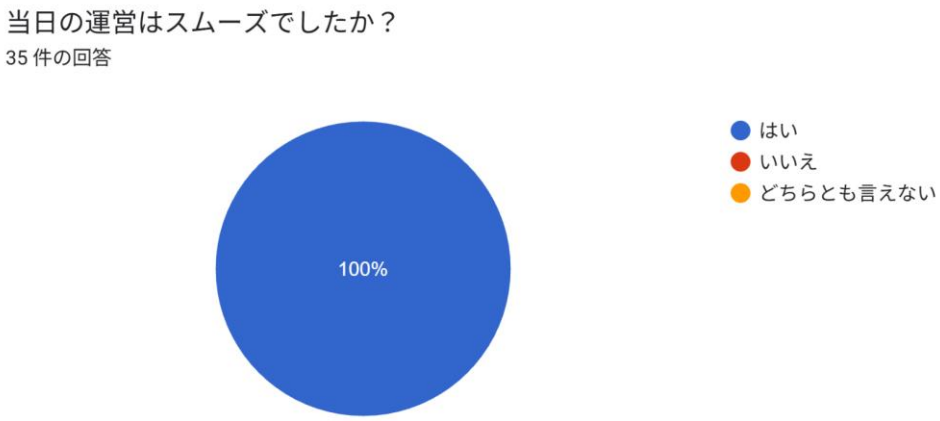


→77.1%が「とてもそう思う」「そう思う」に回答

本イベントの参加で留学に対するモチベーションが上がりましたか？
35 件の回答



→91.5%が「とてもそう思う」「そう思う」に回答



→100%がスムーズだったと回答

Q. イベント全体に関してご意見・ご感想がございましたら、ぜひお聞かせください。

良かった点

- 気になる様々なことを聞けてよかったです！ありがとうございました！
- 国ごとの特徴を知れたのが良かった。特に費用についてはとても参考になった。

改善点

- 選考段階でのお話がもう少しいただけたらうれしかったです。

当日の様子

5. 相談ブース

Ⅰ.相談ブース概要

〈場所〉国際会議場1階ロビースペース

〈日時〉①10月7日（水）**12:30-18:00（最終受付 17:30）**

②10月8日（木）**12:30-18:00 （最終受付 17:30）**

〈形式〉留学経験者（メンター）を各時間帯15-21人ほど配置し、留学先大学やプログラムの決定方法や留学後の流れなど多岐にわたるテーマについて学生の要望に合わせて「一対一の個別相談」を実施する。学生の多岐にわたる要望に答えるために、多様な留学先地域、プログラム・学部のメンターを配置する。

Ⅱ. 来場者数

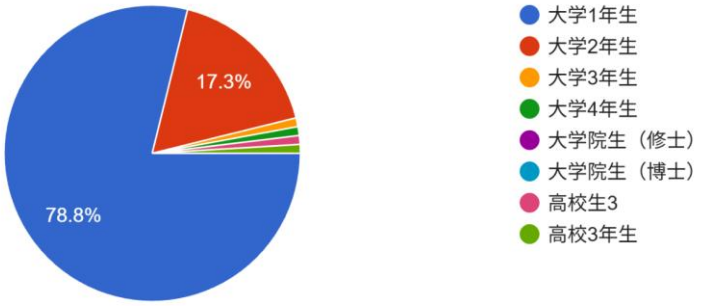
16日　353名

17日　366名

→目標（各日150名）達成！

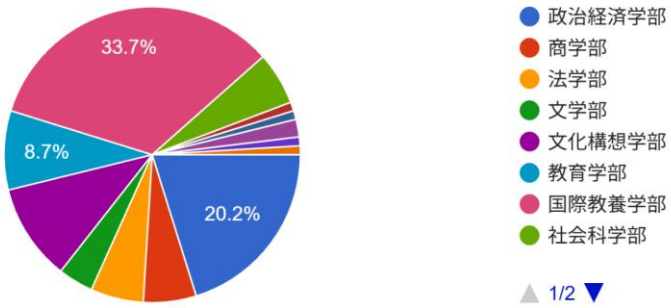
Ⅲ.アンケート結果

現在の学年
104 件の回答



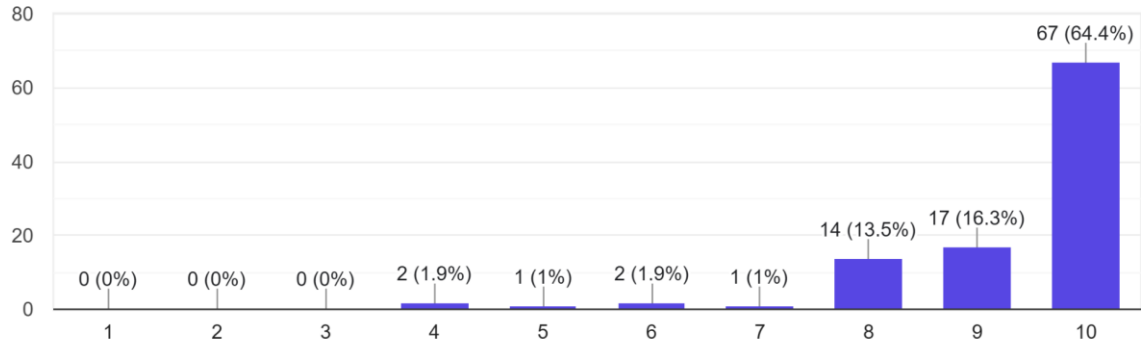
→1年生の参加が約8割

所属学部/研究科 大学院に所属されている方は、...お選びいただきご自身の所属を記入してください。
104 件の回答



→国際教養学部(33.7%)、政治経済学部(20.2%)、文化構想学部(10.6%)、教育学部(8.7%)の順に多いが、学部問わず幅広い学生に参加いただいた。

相談ブースの総合満足度を教えてください。
104 件の回答



→95%が「7」以上で回答

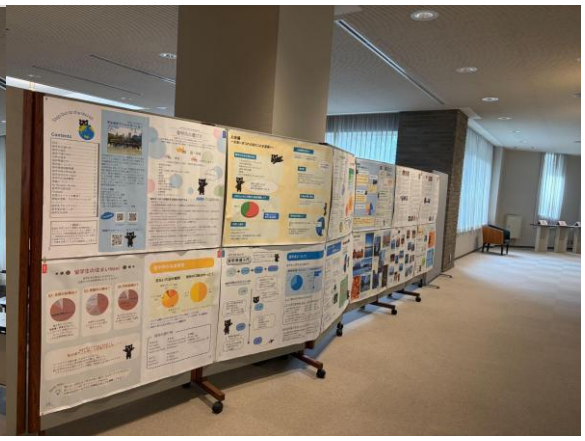
Q. 相談ブースの良かった点を教えてください。

- 親身に相談に乗ってくれた
- アドバイザーがフレンドリーで話しやすかった
- 1:1で話せるので個人的な質問ができた
- 関心のある国に留学していた先輩がたくさんいた
- 椅子に座りながら順番を待つことができた
- ネットの情報だけでは分からないリアルな生活の話を学生目線で聞けた
- リアルな選考の話や情報を知れたことが良かった
- アドバイザーが優しい
- 具体性を伴った海外留学者の経験を聞けたのが良かった

Q. 相談ブースの改善点を教えてください。

- 待ち時間が長く分かりづらい
- 留学経験者の留学先国のバリエーションをもっと増やしてほしい
- 留学アドバイザーの所属学部に偏りがある
- ブースの数をもっと増やしてほしい
- どのようなアドバイザーの話を何時から聞けるのかを端末でも見れるようにしてほしい
- 基本情報（GPA、専攻など）のみを聞きたい人向けに、あらかじめ書いておいたらスムーズになる
- 選考の段階での失敗談などもきけたら良かった
- 時間予約などできたら良いと思った

会場の様子



6. 反省

- 良かった点
  - ○ 相談ブースやパネルディスカッションに、多くのアドバイザーが参加してくれた。
  - ○ 相談ブースでは、参加者が例年を大きく上回り、参加人数目標を達成した。
  - ○ インスタグラムの投稿や早稲田メールを活用して、多くの学生に留学フェア、なかでもアドバイザーイベントの存在を周知できた。
  - ○ パネルディスカッションに、様々な国の留学経験者が登壇し、多様な情報を提供できた。
- 次回以降改善するポイント
  - ○ パネルディスカッション
    - ■ 観覧者数が目標を下回ってしまった。次回以降は、アドバイザーの知り合いの留学希望者にも事前に知らせておく、パネルディスカッションへの誘導に力を入れるなど、より多くの学生さんに来場してもらえるようにする。
    - ■ 相談ブース参加アドバイザーにパネルディスカッションの内容が周知されておらず、相談ブースで学生さんが、「パネルディスカッションでは何を話しているのか？」等質問してくださった際に正確にお答えできないケースがあった。次回以降は、話すトピックについてなどは最低限アドバイザー全員が把握できるようにする。
  - ○ 相談ブース
    - ■ 秋入学のアドバイザーが分かるように、掲示用シフトに記載する。秋入学生ならではの質問に対応しやすくしたい。
    - ■ 相談ブース参加アドバイザーのシフト表をインスタグラムで事前に公開しておく。

7. **まとめ**

2026年度秋の留学フェアでは、例年を大きく上回る多数の方が、アドバイザー企画に足を運んでくださりました。本イベントを通じて、留学出願への不安や疑問点が少しでも解消されていれば嬉しいです。また、今まで留学には関心がなかった学生さんが、留学に一歩踏み出す機会になっていることを願っています。末筆ではございますが、留学フェア・アドバイザー企画に協力してくださった留学センター職員の方々、参加アドバイザーに心より感謝申し上げます。今後も留学アドバイザー一同、留学関連イベントを多数実施していきますので、引き続きよろしくお願いいたします。

ご参加いただいた学生の皆様、誠にありがとうございました。